

第3回学校運営協議会記録

日時 令和8年2月16日(月)10:00～
場所 札幌聾学校 多目的室

【委員】

| 氏名 | 役職 | 出欠状況 |
|--------|----------------------|------|
| 渥美 建治 | 北区北地区民生委員・児童委員協議会副会長 | 出席 |
| 小泉 詔信 | 北24条商店街振興組合理事長 | 出席 |
| 杉本 五郎 | 北海道札幌聾学校同窓会会長 | 出席 |
| 松井 紗和子 | 北海道札幌聾学校PTA会長 | 出席 |
| 渋谷 雄幸 | 公益社団法人札幌聴覚障害者協会理事長 | 出席 |
| 高野 賢一 | 札幌医科大学医学部教授 | 欠席 |
| 船山 大介 | 放課後デイサービスふくろう管理者 | 出席 |
| 佐藤 信太郎 | 北海道警察札幌方面北警察署生活安全課長 | 出席 |
| 佐賀 聡 | 北海道札幌北高等学校長 | 欠席 |
| 菅野 弘尊 | 北海道札幌聾学校長 | 出席 |

【学校評価についての主な意見】

- 評価結果について、保護者アンケートの評価の全項目の平均値が3.5と昨年度よりも高い評価であるのに対して、教職員の自己評価は3.0と昨年度同様低い数値になっている。先生たちがもっと自信を持って取り組んでほしいと感じている。
- 教職員がいじめを絶対に許さないという姿勢で指導を行っているという点が保護者としては見えづらく、評価するにあたって困難であると感じている。
- ICT機器整備については古いので、計画的に情報を更新していく方向性があればよい。
- 地域との交流については、運動会に参加した。次年度も継続していきたい。
- 学習意欲の向上について、何のために勉強するのか自分自身が理解できるよう、先生が将来のために学校があることを伝えるとともに、自分自身で学び、学んだことを将来役立てるといった意欲を育むことができると良い。

【学校長より】

- いじめについては年に3回アンケート調査を行っている。昨年度、今年度ともにいじめとして認知する件数は今のところはない。今後も、教職員と子どもたちとのコミュニケーションを大事にし、安心して学べる学校づくりに努めていく。
- 教職員の評価の低さに関しては、一人一人の教職員が、まだ満足していない、まだ頑張るぞということの意味もあると捉えている。取り組んだことについて、自信をもって保護者や地域に伝えていけるようにしていく。
- ICTに関しては、子どもたちが毎日タブレットに触る機会が増え、調べ学習や写真・動画を取り込んだ活動報告などが上手になってきているという成果が見られている。(子どもたちの使用する機器に関しては、計画的に更新する予定である。)
- 地域との交流は今後も計画的に実施をさせていただきたい。
- 学習指導を通して、自分でできる力を育て、本来もっている力を十分に発揮できる教育を目指していく。